



栗原市立若柳小学校閉校・若柳幼稚園閉園記念誌



ありがとう ～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



## あいさつ

若柳小学校の閉校、若柳幼稚園の閉園に寄せて	栗原市長	佐藤 勇	1
若柳小学校の閉校、若柳幼稚園の閉園に寄せて	栗原市教育委員会 教育長	亀井 芳光	2
閉校に寄せて	栗原市立若柳小学校 校長	菅原 信	3
閉園に寄せて	栗原市立若柳幼稚園 園長	佐々布隆一	3
閉校に寄せて	栗原市立若柳小学校 P T A 会長	川嶋 哲	4

## あゆみ

若柳小学校のあゆみ	5 ~ 9
若柳幼稚園のあゆみ	10

## 文 学校の概要

学区の概要	11
学区略図	11
校舎のようす	12

## 校歌・校旗・校章

## 文 児童数・園児数の推移

## 歴代校長

## 歴代 P T A 会長

## 写真で綴る思い出

幼稚園	～写真で見る幼稚園史	17 ~ 18
	～若柳幼稚園 平成 2 4 年度	19
小学校	～百年のあゆみより	20
	～修学旅行	21
	～運動会	22
	～学芸会	23
	～いろいろな行事	24
	～スクールライフ	25 ~ 26

## 寄稿文

～歴代校長～	♪栄え行くこそさとみそは	第 3 3 代校長	富安 貞夫	27
～歴代校長～	失敗から学ぶ教師	第 3 4 代校長	吉田 求	28
	小学校時代の記憶をたどって	卒業生	千葉 勝義	29
	新校舎の思い出	卒業生	村井 晃子	30
	鼓笛隊の思い出	卒業生	三浦 佳子	30
	「若柳小金管バンド結成」と当時の活動	旧職員	工藤 忠康	31
	合唱部の思い出（～合唱部と私～）	卒業生	千田 美穂	32
	剣道の思い出	卒業生	齋藤 和仁	33
	野球の思い出	保護者	菅原 明	33
～児童のページ～		～1年1組		34
		～1年2組		35
		～2年1組		36
		～2年2組		37
		～3年1組		38
		～3年2組		39
		～4年1組		40
		～4年2組		41
		～5年1組		42
		～5年2組		43
		～6年1組		44
		～6年2組		45

## 編集後記

閉校準備委員会 委員長	千葉 孝	46
-------------	------	----





## 若柳小学校の閉校、若柳幼稚園の閉園に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

秀峰栗駒山を源に、多くの支流からなる迫川が地区の中心を流れ、迫川とともに発展してきた地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた若柳小学校並びに若柳幼稚園が閉校・閉園するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

若柳小学校は、明治6年に「柳徳寺」を仮校舎として開校して以来、140年にわたる長い歴史と伝統を築き、若柳地区の発展に重要な役割を果たしてこられました。

この間、昭和44年には、若柳小学校校舎に若柳幼稚園が創立され、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野で御活躍されておりますことは、若柳地区の皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々な御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史の中で保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する深い御理解と御協力により、健全な子どもたちの育成やPTA活動が活発に行われてきたのが若柳小学校であります。

特に、学校教育の先駆けともいえる福祉教育に注力され、昭和33年に特殊学級を設置されて以来、生命尊重の精神を基本とし、福祉体験活動や「共に学ぶ教育」の具現化を目指し、障がいのある子どもが通常の学級の中でいきいきと活動できるための支援を行われておりますことは、市内小学校の中でも、良き模範として挙げられるものであります。

また、藩政時代には迫川の船運拠点となり栗原地域第一の商業の町として栄えた歴史や、現代まで受け継がれている産業技術など地域に残る財産を活用した学習や、友達を大切にする人間関係づくりのための異年齢集団による全校縦割り活動を積極的に展開されてきたところであります。

このような活動が認められ、才能開発実践教育賞の受賞やJRC活動におきまして日本赤十字社宮城県支部より表彰されるなど、長年の取り組みが認められ、地域と学校が一体となった教育が子どもたちを健やかに育ててきたものと感じております。

このように歴史と伝統がある若柳小学校並びに若柳幼稚園が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童・園児の減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史・園史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで若柳小学校・幼稚園を巣立った皆様にとって、母校の閉校・閉園は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ若柳の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、若柳小学校並びに若柳幼稚園が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



曹洞宗 柳徳寺





## 若柳小学校の閉校、若柳幼稚園の閉園に寄せて

栗原市教育委員会  
教育長 亀井 芳光

平成25年4月、若柳小学校は大目小学校・有賀小学校・大岡小学校・畑岡小学校と再編し、新生「若柳小学校」として現在の地・校舎のもとでスタートすることになりました。また、隣接する若柳幼稚園につきましても、若柳地区幼稚園の3年保育実現のため、有賀幼稚園・大岡幼稚園・畑岡幼稚園と再編し、44年にわたり地域の幼児教育を支えてきた永い歴史の幕を閉じることとなりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました若柳地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、若柳地区の小学校再編を進めるにあたり、教育委員会で提案する再編計画に震災のさなかではありましたが、5小学校の保護者会会長と一緒に教育委員会にお出でいただき、当初の計画では旧町村域をまたぐ再編も提案いたしましたが、若柳地区においては5校全てが一緒になるとのご判断をいただき、地域の皆様にも、この保護者の判断を最大限尊重いただきましたことに改めまして感謝申し上げます。

さて、若柳小学校の歴史を紐解きますと、明治6年に「柳徳寺」を仮校舎として開校し、高等小学校、高等尋常小学校、尋常高等小学校、国民学校を経て、現在の若柳小学校となり、正門には尋常小学校当時に建てられた門柱が今なお、児童の歩みを見守っている姿に、歴史の重みを痛感いたします。また、近年においては、人や地域とのつながりを大切にする学校づくりを掲げ、「縦割り遊び」や「遊べランド」を通じて異年齢集団による児童主体の活動等を積極的に行い、友達を大切にする人間関係づくりや、地域の方々との交流を深めるため「学校・地域公開の日」を設定し、授業公開を実施するなど、正に地域に根差した教育活動を展開し、特色ある学校づくりを進めていただきました。

しかしながら、歴史と伝統に輝く若柳小学校も、少子化により、多いときには二千人を超えた児童数も今では四百人を切り、その著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。若柳小学校は、慣れ親しんできた校舎や校名は、結果としてそのまま継承することにはなりますが、再編にあたっては、これまでの若柳小学校を閉校とし、5つの小学校が一緒になった新たな若柳小学校としてスタートを切ることとなります。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた若柳小学校・若柳幼稚園の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校・幼稚園」の創造に向けて取り組んでいくことを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる大目小学校・有賀小学校・大岡小学校・畑岡小学校、そして、有賀幼稚園・大岡幼稚園・畑岡幼稚園の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校・閉園にあたり、これまで永きにわたり若柳小学校及び若柳幼稚園を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



くりでん 若柳駅



**閉校に寄せて**

栗原市立若柳小学校

校長 菅原 信

明治6年（1873年）7月柳徳寺を仮校舎として開校した若柳小学校は、今年3月を以て閉校し、139年と9か月の歴史を閉じます。学校の沿革をみますと、明治18年には現在の公民館の場所に移り、昭和4年に現在のドリーパルの場所に新校舎を造りました。昭和21年、一番多いときの児童数は2306人でした。そして、昭和58年9月19日に現在の校舎に入校。758人の子どもたちが手に手に図書室の本を持って入校したことが昨日のこのように思い出されます。この間、栗原地域きっての大規模校として、また、中心校として多くの成果をあげ有為な人材を輩出してきました。文部省や宮城県教委の指定校として数多くの公開研究会を実施したり昭和29年にはプールができるなど他校に先駆けてスポーツや合唱コンクールなどの文化面で多くの足跡を残したり、さらには数多くの表彰も受けています。

私事になりますが、私自身も昭和56年から61年までの6年間教諭として勤務し、ここで教員として育てられたという感謝の気持ちをもっています。そして、偶発的な出来事ではありますが、本校に二度目の勤務、教職生活の最後の年に学校を閉じる校長としてここで勤務するということが、何か運命的なものも感じています。

今年の1年間は、スローガンを「若小DNA」とし、朝会等の機会に若小の歴史について話してきました。守るべき伝統と時代によって変わるべき進取の気概を小学生なりに感じ取れるよう、例えば昭和4年の旧校舎完成記念絵はがきと昭和58年の現在の校舎完成記念絵はがきを対比させたり、できて間もない現校地の木の大きさ、舗装前の通路などを示し、子どもたちの親の世代がここで学んだこと、若小の歴史と伝統を小学生なりに感じ取れるようにしたりしてきました。どこまで伝わっているか自信はありませんが、若小のよさをいくらかでも心に残せたら幸いと思っています。

来る4月には旧若柳町5つの小学校が統合再編し、新生若柳小学校としてスタートします。新たな環境の下で新しい先生や友達と共に健やかに育ててほしいと願っています。学校、保護者、地域が従来以上に連携を強くし、志の高い子たちを育てていけるよう衷心より願い挨拶といたします。

**閉園に寄せて**

栗原市立若柳幼稚園

園長 佐々布 隆一

本園は、昭和44年4月に「若柳町立若柳幼稚園」として若柳小学校校舎の一部に併設され、その後、昭和59年2月に新園舎が完成し、4月から現在の園舎での保育活動が開始されました。創設から数えると44年、歴代園長先生を中心に、熱意と創意に満ちた教職員の努力によって、生涯にわたる人間形成の基礎を培う教育に取り組み、すばらしい実績を上げてきました。

1年だけですが、最後の園長として勤務し、若柳幼稚園のすばらしさを肌で感じ取ることができました。それは、栗原市の未来を担う子どもたちのために、園児一人一人を大切に、温かく見守りながら、自然の中で季節的な遊びをさせたり、栽培活動をさせたり、さらに、保育所・小学校、地域の施設との交流を通して豊かな感性を育てていることです。特に、近隣のさくらの里若柳ケアハウスとの交流では、お遊戯を披露し、一緒に歌を歌ったり、昔の遊びをしたりしながら心を通わせ、やさしい心を育てております。

また、「挨拶ができる」「自分のことは自分でする」「他人に迷惑をかけない」という社会生活の最低のルールを幼稚園という集団社会の中で体験を通して学ばせ、定着を図り、小学校生活に円滑に適応できるよう取り組んでいることです。

このようなすばらしい実績を積み上げてきた若柳幼稚園には、教職員・卒園児のみならず、保護者や地域の皆様にもたくさんの思い出とご苦労があったことと思います。その若柳幼稚園が閉園になることになったのは、惜しみても余りあるものがあります。閉園後は若柳地区幼稚園4園が一つになり、新たなスタートを切ることとなります。幼児期は、感性が最も育まれる時期です。新たな幼稚園でも、これまで築き上げてきた地域との連携を宝に、美しいものを美しいと感じ、不思議なことを不思議と感じる心を持ち続ける心豊かな園児の育成を目指し、新たな歴史を刻んで行って欲しいと思います。

最後になりました本園の閉園にあたり、物心両面からご支援を賜りました市当局、PTA会員、地域の皆様に衷心より感謝を申し上げ閉園の挨拶といたします。





## 閉校に寄せて

栗原市立若柳小学校

PTA会長 川嶋 哲

はさま川のほとりで移りゆく四季を感じながら子供たちとともに歩んできた若柳小学校が140年の歴史に幕を閉じようとしています。若柳の柳徳寺にて産声をあげ、多くの子供たちが学び遊び、積み重ね創ってきた伝統がここにあります。そして卒業生はもとより、歴代の校長先生始め先生方、そして若柳小学校に携わったたくさんの方々、若柳の地域の皆様の思い出がここにあります。ここでの思い出が生きる糧となっている方も、苦しい時に帰れる場所になっている方もいることでしょう。そんな先輩諸兄の思いのひとつひとつが細胞となり現在の若柳小学校在校生に受け継がれていることと思います。

そして平成25年度には新たに若柳地区の5つの学校がひとつになり新生若柳小学校が誕生します。開校し新しい学校となりますが、「ゼロからのスタート」ということではなく、若柳小学校の伝統と思い出を受け継いで第二章の幕開けとなることと思います。今まで培われた若柳小学校のDNAを持った子供たちがこの新生若柳小学校で大きく羽ばたいて欲しいと願います。そしてそれぞれの学校の歴史・文化を心に持った子供たちが、ひとつの学び舎で勉強をしたり遊んだりして、交わることで、素晴らしい化学反応がたくさん起こることが、今から楽しみでなりません。

新しい環境になりますが、慌てず焦らずゆっくり慣れていき、自ら考え、主体的に判断し、行動し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を磨いて欲しいと願います。

そして、我々保護者として子供が心身共に安心して学べる新生若柳小学校を目指してPTA活動に取り組んでいきたいと思えます。また若柳小学校最後のPTAの代表として、先輩諸兄が築き上げた素晴らしい伝統を新生若柳小学校に伝えていくように努力していきます。そして、今までPTA活動にご理解ご協力いただきましたことをこの場で感謝申し上げます。また、今後の活動にも、より一層の会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、新生若柳小学校で学ぶ子供たちが夢を持ち、明るく豊かな素晴らしい自分の未来へ一歩一歩しっかりと踏みしめながら歩いて行くことを望みます。



校舎風景





# 若柳小学校のあゆみ

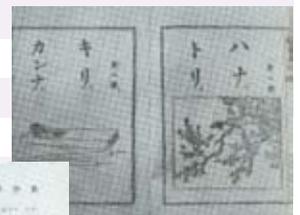
年	代	歴代校長	児童数	歴代PTA会長	沿革概要
明治	6	初 堀 友弘			柳徳寺を仮校舎として開校
	7	2 中沢 敬哉			
	11	3 阿部 敬三			
	14	4 宮木 厚			
	15		423		若柳高等小学校と称する
	17	5 今野 清	495		
	18	6 桜井 光華			校舎落成し、柳徳寺より移転する（現公民館敷地）
		7 近藤 親民	503		若柳高等尋常小学校と称する
	19		578		
	20		607		
	21		769		
	22		609		
	23	8 小山鏡三郎	643		
	24		578		若柳尋常高等小学校と称する
	25		666		
	26		857		
	27	9 山内菊之助			
	28	10 錦織玄三郎			
	30	11 渋谷徳三郎			
31	12 嶋原 佐盛				
32	13 赤井 之弥			校章が制定される	
36		757		千葉虎二氏より校旗が寄贈される	
37					
38	14 富田 珍平				
42					
大正	3				校地176坪が拡張される
	7	15 玉沢 正吉			
	8	16 岡 餘禄	1,074		
	9		1,124		
	10	17 山内勝治郎	1,153		
	11		1,154		
	12				校歌が作られる（17代校長、山内勝治郎作詞）
	13		1,305		高橋文五郎氏より校旗が寄贈される
	14		1,308		
	15		1,222		
昭和	2	18 千葉 貞	1,430		
	3		1,418		
	4		1,471		校舎落成
	5		1,554		
	6		1,560		
	7		1,670		
	8		1,706		
	9		1,739		
	10		1,743		
	11	19 氏家 勇記	1,753		
12		1,797			
13		1,867			
14		1,899			



明治の頃の柳徳寺



玄関にかかげた看板



大正時代の教科書



校歌が作られる（17代校長、山内勝治郎作詞）  
高橋文五郎氏より校旗が寄贈される



校旗寄贈



昭和4年落成の旧校舎



年	代	歴代校長	児童数	歴代PTA会長	沿革概要			
昭和	15	真野 小一郎	1,940					
	16		1,988		若柳国民学校と称する			
	17	遊佐 広	1,917					
	18		2,058					
	19		2,042		校旗樹立式を行う（詳しい資料なし）			
	20		2,196					
	21	22	星 末治	2,306				
	22			1,778	小野寺勝一郎 (1)	若柳町立若柳小学校と称する ・若柳小学校父母教師会が結成される		
	23			1,733		「国語科」公開研究会を開催		
	24			1,656		海鉾義美先生を招き、「音楽科」教育研究会を公開		
	25	23	日野 徳寿	1,658		「全教科」公開研究会を開催		
	26			1,550		「特別教育活動」公開研究会を開催		
	27			1,409	三浦 虎二	「国語・算数科」公開研究会を開催		
	28			1,411	(2)			
	29			1,470		創立80周年記念としてプール落成		
	30	24	二階 村男	1,515				
	31			1,611				
	32	25	千葉 順美	1,680	高橋 頼義			
	33			1,767	(3)	特殊学級が新設される ・「国語科」公開研究会を開催		
	34			1,824	千葉 泰平			
	35			1,765	(4)			
	36			1,723	高橋徳太郎			
	37			1,633	(5)	学力向上協力校として公開研究会を開催		
	38			26	高橋 盛夫	1,540		
	39					1,482		
	40					1,409	熊谷 命男	「道徳」公開研究会を開催
	41					1,380	(6)	「道徳」公開研究会に対して学研賞を受賞
	42	1,313	小野寺孝一			「ことばの教室」2学級を設置		
	43	1,245	(7)			「社会科」公開研究会を開催		
	44	1,227	上田 隆			学校完全給食が開始される ・プールが増設される		
	45	1,165				TBC音楽コンクール東北大会に出場		
	46			1,107	小野寺純雄 (9)	「ことばの教室」が増設 ・「算数科」公開研究会を開催 ・県教育委員会より父母教師会表彰される		
	47			1,010		文部大臣より父母教師会表彰される		
	48	27	伊藤敬二郎	963	岩淵 光男 (10)	創立100周年記念式典を行う （「若柳小学校100周年の歩み」の発刊） ・交通少年団を結成		
49	919							
50	28	菅原 重一	887	千葉 惇昌				
51			862	(11)	難聴児学級を新設			
52			822	荘司 和成	若柳小学校建設教育懇談会を開催			
53			815	(12)	宮城県沖地震発生（校舎各所に被害甚大） ・若柳小学校建設促進委員会発足			
54			791	三浦 将照				



## 若柳小学校のあゆみ

年	代	歴代校長	児童数	歴代PTA会長	沿革概要	
昭和	55	29 高橋 尚	780	三浦 将照 (13)	難聴児学級を廃止	
	56		771		交通少年団、宮城県知事より表彰される	
	57		753		若柳小さくら児童会旗樹立式	
	58		758		若柳小新校舎落成・移転（入校式 9月19日） ・プール落成（水面積523㎡） ・体育館落成（1、524㎡）	
	59		745		川嶋 保美 (14)	ひょうたん山造成、遊具設置 ・若柳小新校舎落成式典（11月14日）
	60	30 菅原 文吾	745	佐藤 恒雄 (15)	校門より玄関までの道路舗装 ・「算数科」公開研究会を開催（県教委指定）	
	61		718		バックネット設置・遊歩道着工・町旗設置	
	62		715		「さくら児童会の歌」が作詞・作曲される	
	63	31 三浦 徹也	709	新田 一雄 (16)	校旗募金の開始	
	平成 元		692		「学校みどりの日」記念植樹式実施 （県緑化推進委員会よりソメイヨシノ4本寄贈される） ・校木「さくら」と制定 ・プールサイドに国旗掲揚ポールを設置 ・ひょうたん山の改修工事 ・さくら児童会より、新校旗を贈呈される	
			2		647	小野寺幸吉 (17)
	3		622		青少年赤十字研究協力校委嘱（2か年間） ・難聴学級設置（在籍2名） ・難聴学級教室の改造工事	
4	593		佐藤 一 (18)		職員室に流しを設置・農機具倉庫設置 ・JRC公開研究会を開催 ・屋外照明設置（校門通路）	
5	579		校庭暗渠全面改修 ・学校保健統計で文部大臣より表彰 ・人権思想普及で仙台北法務局より表彰			
6	33 富安 貞夫		572		上田 徹 (19)	道徳教育推進校の指定を受ける（文部省・2か年間）
7			566			文部省指定道徳教育推進校公開研究会を開催 ・金管バンドを結成する
8			550			才能開発実践教育賞を受賞
9	34 吉田 求		543		中嶋 太一 (20)	プール用品倉庫設置・第2図書室設置 ・難聴学級廃止・購買廃止 ・宮城県社会福祉協議会よりボランティア活動事業協力校の指定を受ける（3か年間）
10			514			宮城県小学校長会研究協議会の会場校となる ・宮城県言語指導研究大会若柳大会を開催 ・コンピュータ室の設置・コンピュータ20台設置
11			488			呉地 正行 (21)
12	466	鈴木 得男 (22)	病虚弱学級設置 玄関前タイルと暖房装置大改装 グラウンド前の田を学校田として借用する			





年	代	歴代校長	児童数	歴代PTA会長	沿革概要	
平成	12	35	小野寺邦義	466	鈴木 得男 (22)	若柳夏祭りに4年の絵灯籠が参加する ウエットランド宿泊訓練が始まる プルタブ収集始める
	13			452		学校評議員制を導入 軽トラックが配備される 県警音楽隊来校 町内水泳大会の会場校となる 県社会科研究大会栗原大会の会場校となる 「海はだれのもの」の映像とトーク
	14	36	菅原 幹男	416	滝川 勝博 (23)	肢体不自由学級設置 心をはぐくむ教育活動の指定を受ける TBC音楽コンクール東北大会に出場
	15			416		宮城県沖の地震による体育館天井板数枚 落下(5月26日) コンピュータが更新・増設され、55台 となる 県音楽科研究大会栗原大会の会場校となる
	16	37	中川 肇	414		管内防犯教育指導者研修会会場校 (不審者対応) 宮城県学校体育研究大会会場校 児童トイレ修繕工事 廊下天井照明器具交換 時計台ペンキ塗り替え 低学年多目的ホール新築
	17			411		栗原市立若柳小学校と称する 学習システム整備モデル事業実施校の指定を受ける 中国吉林省教育視察団来校 校庭向けスピーカー修理(ストレートホーン及び ホーンスピーカーの増設) 集団下校を実施 学校指定通学路を設定
	18	38	衡田 幸一	413	菅原 浩行 (24)	文部科学省新教育システム開発プログラムの特別 支援教育の研究協力校の指定を受ける 中国吉林省へ県の教育視察団として校長が訪中 宮城県小学校道徳研究大会栗原大会会場校 宮城県特別支援教育研究大会栗原大会会場校 宮城県PTA研究大会栗原大会分科会会場校 市道元町6号線道路工事に伴う職員駐車場の移転 及び整備が行われた
	19			399		「学校・地域公開の日」を設定し、地域の方々と保 護者の方々を対象に授業公開を実施する 放課後の時間を活用し、算数の個別指導を行う「は げみ学習」を開始 学習システム整備モデル事業の指定が終わる 5年生の学習田の取り組みが終わる
	20			428	川嶋 哲 (25)	知的障害学級新設(在籍2名) 学習システム整備事業実施校の指定を受ける



## 若柳小学校のあゆみ

年	代	歴代校長	児童数	歴代PTA会長	沿革概要	
平成	20	38	衡田 幸一	428	川嶋 哲 (25)	文部科学省「特別支援教室構想」に関する研究における指定を受ける（1年間） 岩手宮城内陸地震発生(体育館の天井パネルに被害あり) 第2回「学校・地域公開の日」を実施する 鼓笛隊の取り組みが終わる
	21			415		コンピュータが更新・増設される 第3回「学校・地域公開の日」インフルエンザの影響で中止となる 地デジ対応テレビが各教室に設置される
	22	39	菅原 信	407		県教委「学力向上サポートプログラム事業」の指定を受ける（1年間） 中国吉林省白城市教育施設団来校 学習支援システム事業の指定が終わる 東北地方太平洋沖地震発生 3. 11 (校舎・体育館・プール等に甚大な被害あり)
	23			409		東北地方太平洋沖地震により被害を受けた校舎周辺・体育館・プールの復旧工事が行われる。第4回「学校・地域公開の日」は予定通り 12月、学芸会は復旧工事のため1月に延期して実施した。校舎東側職員駐車場の南側半分の舗装工事が終わり、全面舗装となる。 平成25年度の若柳地区5校による小学校再編に向けて再編準備委員会が発足。4部会に分かれての検討・準備が始まる。
	24			390		再編に向け校舎大規模改修を行う。 再編に向け児童交流活動を実施する。 閉校記念式典挙行(平成25年3月3日)





年	代	歴代園長	園児数	沿革概要
昭和	44	初 高橋 盛夫	182	若柳町立若柳幼稚園として若柳小学校校舎に創立
	45		171	
	46		158	
	47		153	
	48	2 伊藤敬二郎	149	
	49		149	
	50	3 菅原 重一	140	
	51		131	第1回入園式
	52		131	宮城県国公立幼稚園教育研究会公開保育
	53		143	
	54		146	
	55	4 高橋 尚	139	
	56		128	
	57		145	
58	142			
59		126	新園舎落成・移転 栗原郡幼稚園教育研究会公開保育	
60	5 菅原 文吾	128		
61		124		
62		132		
63	6 三浦 徹也	115	外倉庫新築	
平成	元		105	
	2	7 武田 繁光	103	
	3		103	開園記念日を7月1日に制定
	4		102	
	5		99	栗原郡幼稚園教育研究会公開保育
	6		8 富安 貞夫	96
	7		88	
	8		99	たんぽぽ幼年消防クラブ結成
	9	9 吉田 求	80	
	10		77	
	11	10 小野寺邦義	65	栗原郡幼稚園教育研究会事務局
	12		60	栗原郡幼稚園教育研究会事務局
	13		50	栗原地区少年婦人防火委員会より幼年消防クラブに感謝状の受賞
	14	11 菅原 幹男	79	
	15		77	預かり保育開始
	16	12 中川 肇	73	栗原郡幼稚園教育研究会公開保育
17	64		栗原市立若柳幼稚園に改名	
18	13 衡田 幸一	64		
19		77	道路改修に伴い園庭改修作業	
20		72		
21		71		
22	14 佐藤 賢一	65		
23		58		
24	15 佐々布隆一	58	保育室及び遊戯室の増築 若柳地区幼稚園再編に伴い閉園	



第1回入園式



幼年消防クラブ結成式





### 学区の概要

#### 学区の様子

(1) 藩政時代、若柳は石巻との川船交通の拠点となり、栗原市第一の商業の町として栄えたが、国鉄が開通されると同時に川船交通が途絶えて、町の発展に大きな影響があった。

市街地の中心を流れている迫川の改修工事により、大橋付近の住宅が移転し、南大通りの市街地や上町地区に新しい町が形成されたりするなど、町の様子が変ぼうし、活気に満ちあふれている。

(2) 保護者の職業は、第3次産業の就労者が約7割を占め、以前に比べると保護者の職業従事の様子も変わってきている。また、共働きの家庭は60%である。

(3) 父母の学校教育に対する関心は高く、PTA活動も盛んである。また、地域住民の積極的な協力もみられる。

(4) 地区の人口の減少とともに児童数も年々減少している。



### 学区略図



#### 児童の実態

- (1) 共働き家庭が約60%と多く、放課後児童クラブ「たけのこ」に入所している児童もいる。
- (2) 児童の大半は徒歩通学であり、自転車通学は1割強程度である。
- (3) 地区内の交通量の増加に伴い、歩道整備は進んでいるものの、道幅の狭小など不十分な点もあり、交通安全上、父母の協力を得ながら事故防止に期している。
- (4) 児童は素直で思いやりがあり、仕事や課題に真剣に取り組む。自分で考え行動する積極性を伸ばしていきたい。



### 校舎のようす

#### 学校平面図



#### 校舎配置図





# 若柳小学校 校歌

山内勝治郎 作詞  
橋本 国彦 作曲

♩ = 110

## 若柳小学校 校歌

作詞 山内勝治郎  
作曲 橋本 国彦

一、光あまねき 大御代の

恵みの露に うるおいて

日々に生い立つ 若柳

迫の川の 末永く

栄え行くこそ 郷人は

こよなき幸と 謳うなれ

二、わが学び舎の 友どちよ

御国の民の 鑑ぞと

つとめ励みて 栗駒の

峰より高き 梅が香を

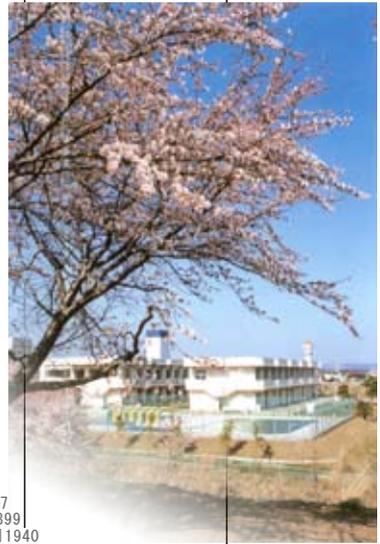
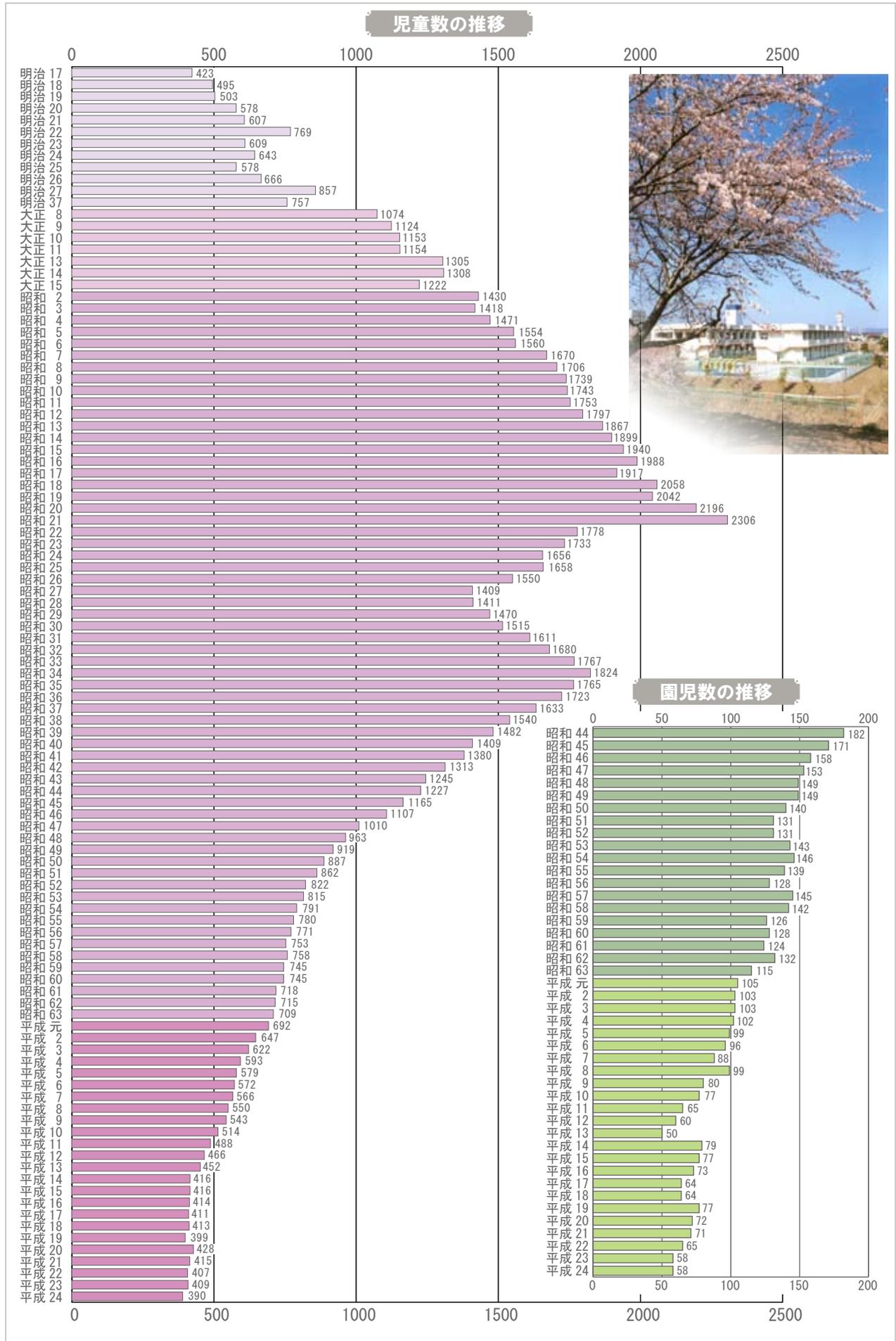
桜の花に におわせて

柳の枝に 咲かせなん





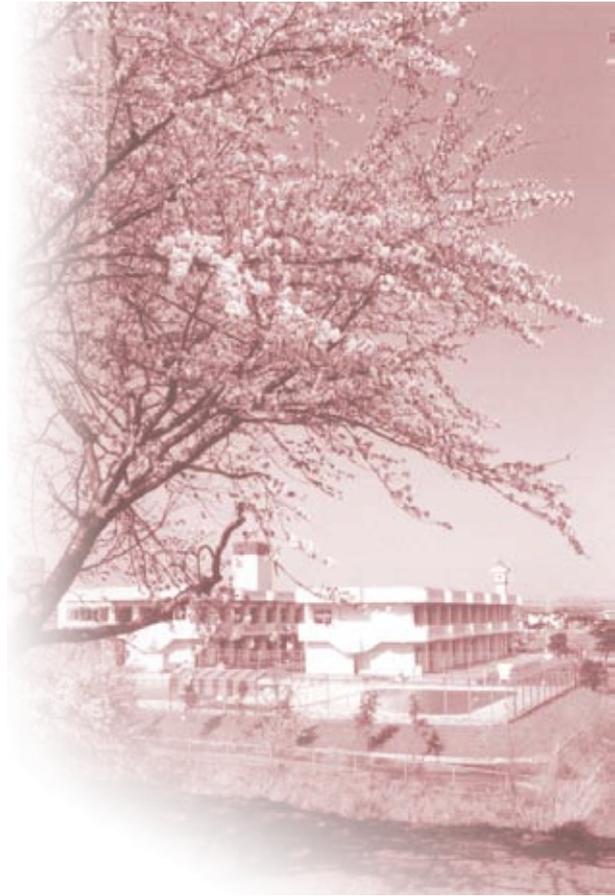
# 児童数・園児数の推移





# 歴代校長

初代	明治 6 年度	堀 友弘	校長
第 2 代	明治 7 年度～明治 10 年度	中沢 敬哉	校長
第 3 代	明治 11 年度～明治 13 年度	阿部 敬三	校長
第 4 代	明治 14 年度～明治 16 年度	宮木 厚	校長
第 5 代	明治 17 年度	今野 清	校長
第 6 代	明治 18 年度	桜井 光華	校長
第 7 代	明治 18 年度～明治 22 年度	近藤 親民	校長
第 8 代	明治 23 年度～明治 26 年度	小川鏡三郎	校長
第 9 代	明治 27 年度	山内菊之助	校長
第 10 代	明治 28 年度～明治 29 年度	錦織玄三郎	校長
第 11 代	明治 30 年度	渋谷徳三郎	校長
第 12 代	明治 31 年度	嶋原 佐盛	校長
第 13 代	明治 32 年度～明治 37 年度	赤井 之弥	校長
第 14 代	明治 38 年度～大正 6 年度	富田 珍平	校長
第 15 代	大正 7 年度	玉沢 正吉	校長
第 16 代	大正 8 年度～大正 9 年度	岡 餘祿	校長
第 17 代	大正 10 年度～昭和 元年度	山内勝治郎	校長
第 18 代	昭和 2 年度～昭和 10 年度	千葉 貞	校長
第 19 代	昭和 11 年度～昭和 14 年度	氏家 勇記	校長



第 20 代	昭和 15 年度～昭和 16 年度	真野小一郎	校長
第 21 代	昭和 17 年度～昭和 20 年度	遊佐 広	校長
第 22 代	昭和 21 年度～昭和 24 年度	星 未治	校長
第 23 代	昭和 25 年度～昭和 29 年度	日野 徳寿	校長
第 24 代	昭和 30 年度～昭和 31 年度	二階 村男	校長
第 25 代	昭和 32 年度～昭和 37 年度	千葉 順美	校長
第 26 代	昭和 38 年度～昭和 47 年度	高橋 盛夫	校長
第 27 代	昭和 48 年度～昭和 49 年度	伊藤敬二郎	校長
第 28 代	昭和 50 年度～昭和 54 年度	菅原 重一	校長
第 29 代	昭和 55 年度～昭和 59 年度	高橋 尚	校長
第 30 代	昭和 60 年度～昭和 62 年度	菅原 文吾	校長
第 31 代	昭和 63 年度～平成 元年度	三浦 徹也	校長
第 32 代	平成 2 年度～平成 5 年度	武田 繁光	校長
第 33 代	平成 6 年度～平成 8 年度	富安 貞夫	校長
第 34 代	平成 9 年度～平成 10 年度	吉田 求	校長
第 35 代	平成 11 年度～平成 13 年度	小野寺邦義	校長
第 36 代	平成 14 年度～平成 15 年度	菅原 幹男	校長
第 37 代	平成 16 年度～平成 17 年度	中川 肇	校長
第 38 代	平成 18 年度～平成 21 年度	衡田 幸一	校長
第 39 代	平成 22 年度～平成 24 年度	菅原 信	校長



初代	昭和22年度～昭和26年度	小野寺勝一郎
第2代	昭和27年度～昭和31年度	三浦 虎二
第3代	昭和32年度～昭和33年度	高橋 頼義
第4代	昭和34年度～昭和35年度	千葉 泰平
第5代	昭和36年度～昭和39年度	高橋徳太郎
第6代	昭和40年度～昭和41年度	熊谷 命男
第7代	昭和42年度～昭和43年度	小野寺孝一
第8代	昭和44年度～昭和45年度	上田 隆
第9代	昭和46年度～昭和47年度	小野寺純雄
第10代	昭和48年度～昭和49年度	岩渕 光男
第11代	昭和50年度～昭和51年度	千葉 悟昌
第12代	昭和52年度～昭和53年度	荘司 和成
第13代	昭和54年度～昭和58年度	三浦 将照
第14代	昭和59年度	川嶋 保美
第15代	昭和60年度～昭和62年度	佐藤 恒雄
第16代	昭和63年度～平成元年度	新田 一雄
第17代	平成2年度～平成3年度	小野寺幸吉
第18代	平成4年度～平成5年度	佐藤 一
第19代	平成6年度～平成8年度	上田 徹
第20代	平成9年度～平成10年度	中嶋 太一
第21代	平成11年度	呉地 正行
第22代	平成12年度～平成13年度	鈴木 得男
第23代	平成14年度～平成17年度	滝川 勝博
第24代	平成18年度～平成19年度	菅原 浩行
第25代	平成20年度～平成24年度	川嶋 哲





第1回入園式（昭和44年度）旧若柳町立若柳小学校にて



第4回修了式（昭和47年度）旧若柳町立若柳小学校にて



おゆうぎ会（昭和49年度）若柳町公民館にて～かぐや姫～



楽しい給食（昭和50年度）



生活発表会（昭和56年度）若柳町公民館にて  
～インディアンペベちゃん～



バス遠足（昭和62年度）瀬峰五輪堂山公園

# 写真で見る



あきのだいうんどうかい（平成2年度）園庭にて



さつまいもの収穫（昭和63年度）



幼年消防クラブ結成式（平成8年度）よいこのちかい



七夕会（平成13年度）



子どもの日のおいおい（平成14年度）

# 幼稚園史





生き物とり (メダカ・タニシ…いろいろとれたよ)



さくらの里との交流 (おてらのおしょうさん)



プール遊び (小学校の大きいプールは最高です)



運動会 (いっぱい走って疲れたよ)



歩け歩け遠足 (ちよつとつかれたよ)



中学生との交流 (たのしいあそびをおしえてもらったよ)



買い物体験 (100円を持ってウジエスーパー)



お店屋さんごっこ (いらっしやい いらっしやい)



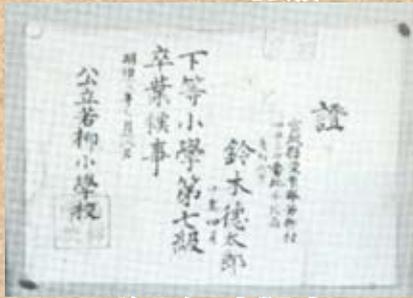
思い出の園舎の前で



奉安殿



明治19年 官制改正初の知事 松平正直書



明治15年 卒業証書



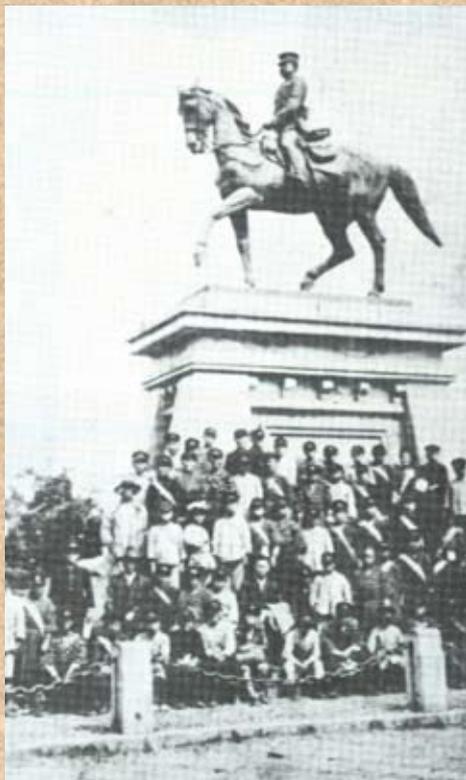
明治初期の教科書



記念式典 大正時代



大正時代の教科書



修学旅行(昭和2年)



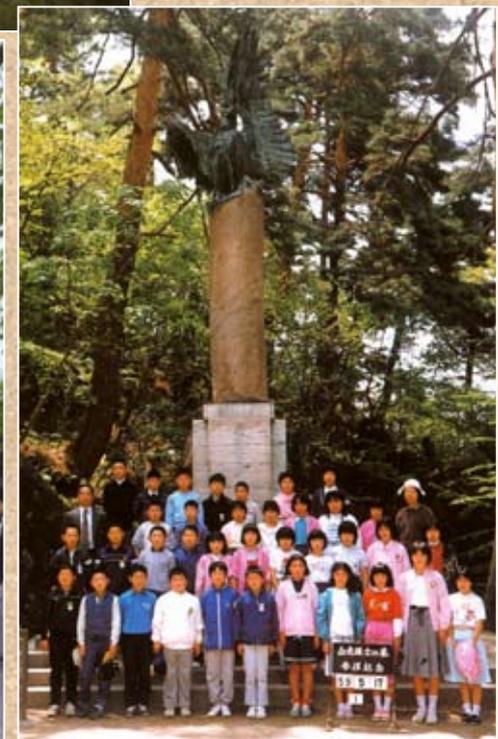
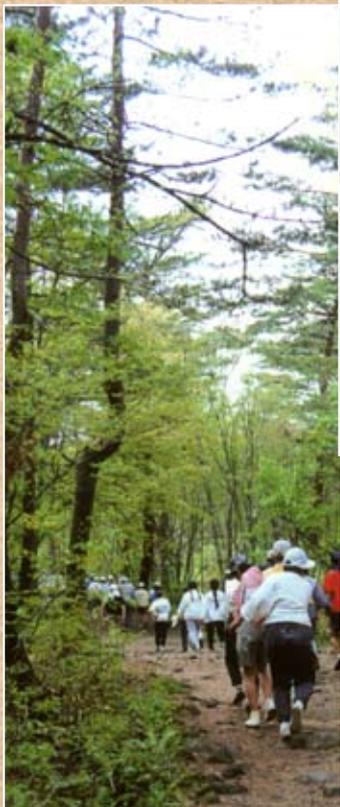
昔の若柳大橋



大正9年度 通信簿

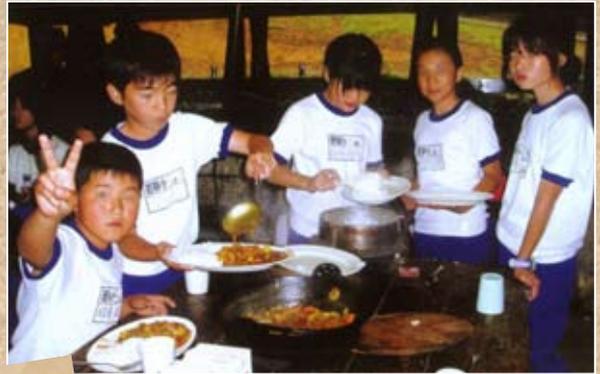


青年学校  
卒業生









野外活動



陸上・水泳大会



マラソン大会



市小中学校音楽祭







**小栄え行くこそさとみそは**

第33代校長 富安 貞夫

平成6年4月、若小に着任した。玄関にはいると沢山の職員たちが若小校歌を斉唱し、拍手で歓迎してくれた。案内された校長室には大輪の百合が生けてあった。心遣いが嬉しかった。

数日後、新入職員着任式が体育館に於いて行われた。「校歌斉唱」。歌詞は転入職員背後の壁に掲示されていて転入者には見えない。私は全児童・職員と共に元気に歌った。式の終了後数名の中学年女児が校長室を覗いて言った。「校長先生は今日若小に来たばかりなのにどうして校歌を知っているのですか?」「それはね、校長先生も若小の卒業生だからですよ」「えー、信じられない」若小卒業生で同校校長経験者は何人かいるだろうが存命しているのは私だけかも知れない。

若小校歌については児童だった頃の思い出がある。「栄え行くこそ里人は…」を「さと一みそは一」と何の疑いもなく歌い、「迫の川の末永く…」のところではクラスメート末長君の横顔をわざとらしくのぞき込んだ。「務め励みて栗駒の…」など、はげが何となくおかしい、文語体などは知るよしも無かった。

文語体の校歌は時代にそぐわないとか児童の実態に合わないという考えがある。一理あると思う。しかしながら後日懐かしさと共に理解するというわかり方もあると思う。

校長在任中に栗原郡教育研究協議会の会長・事務局を引き受けた。郡内すべての小中学校における教育研究の推進・取り纏めの仕事をする。教育研究の指定も受けた。平成8年度には栗原郡小学校長会会長を引き受けることになった。その年、校長が定年を迎える年だということで教頭の菅原勝男先生が海外職員旅行を企画立案してくれた。4泊5日の香港・澳門の旅である。旅行記念に「一見高級腕時計」を何人かが購入した。今はもう動かない。一方、還暦記念に職員有志から頂いた掛け時計は自宅のダイニングにあって裏面に「平成8年9月22日」と表記がある。こちらは、16年経過して尚時を刻み続けている。

広い校庭だが水はけが悪かった。1日雨が降れば3日間使えない。運動会が1ヶ月も順延になったという話を前任の三浦徹也校長先生から伺ったことがあった。そこで、暗渠排水工事を実施した。膨大な費用を要したと覚えている。見違えるように排水がよくなった。以後運動会の時にも自動車を校庭に入れないようにした。

幼稚園の園舎。大雨の翌日など、晴天なのに天井から水がしたり落ちてくる。陸屋根全体が大きな舟のようになっていて内装の雨樋が詰まり、雨水を処理しきれない。1メートルほどの深さに水が溜まっていたことがあった。

現校舎ができる以前の木造校舎はドリームパルの敷地にあった。中庭を持つ広大な総二階造り。米松をふんだんに使ったと言うだけに節が見当たらなかった。釘も使われていないと聞いた。三宮尊徳像や石の門柱は五葉の松と共に現在校の位置に引き継がれている。校庭西端には杉木立の中に奉安殿があり御真影と教育勅語を厳重に保管していた。

さらにその前世代の校舎は現公民館の地にあり昭和2桁の初めには「授産場」とか「古学校」と呼ばれた。登米の文化財学校と全く同じ構造だと記憶している。

平成9年3月31日。定年退職の日を迎えた。真夜中の24時を若小敷地で迎えようと、家内と連れ立って若小正門から校地にはいり、闇夜の校舎を眺めていた。あと数分で任務完了である。少々感傷気味になっていた。と、突然職員室に灯りが灯り同時に物陰から数人の若小職員が現れ「蛍の光」を歌いながら近づいてきた。私に来ることを何かで知った部下職員たちの驚くべき演出であった。生涯忘れないことであろう。若小は閉校しても「我が若小」は永遠である。





## 失敗から学ぶ教師

第34代校長 吉田 求

### 1. 一国一城の主

「小学校の先生は一国一城の主である」昭和36年に赴任したときの最初の指導の言葉である。未熟な子供たちの中の唯一の大人であることを自覚し、独善や怠惰な態度は夢々あってはならないということを悟した言葉と理解し生涯忘れることがない。

しかし、教員養成系の大学を卒業してきたとはいえ、いざ一人で教壇に立つと、すべてが五里霧中であり、朝夕や休み時間の多くを子供と遊んで、なんとか人気を得てその日を過ごすような姿であった。教材研究といっても(1+1=2)であるだけで、それをどう子供に納得させ分かってもらうかなどには、考えも及ばなかった。万事がそのようであるから、先輩の授業を見せてもらっても、どこが良くてどこに問題あったのかなどは、分かるはずも無かった。これでは、完全に落第教師だと気づいたときの焦りを、今も鮮明に記憶している。

そこで、何はともあれ、先輩の普段の授業を見せてもらう機会を数多く求め、話を聞かせてもらい、参考文献を読み漁り、長期休業期間になると自費で研修会に参加するようになった。こうして、ようやく自分なりに「良い授業」のイメージを描くことができるようになってきた。それまで、見えなかった物が見えるようになると、自分の学級には、為さなければならない課題が山積していた。卑近な一例をあげるなら、筆入れはあっても、消ゴムも色鉛筆も定規が無い。鉛筆はあっても折れている。筆や本の持ち方は適当であり、ノートは有って無きが如くの状態であった。また、文字を音声化できない子もいる。こうした現実の姿を解決せずに「資料を調べて考えてみよう」というような指示をしたところで、どうにもならないのである。だから、私の実践研究はこんな辺りから出発したといえる。しかし、子供たちは本を読めるようになるし文章も書けるようになっていく。何より、勉強を嫌わなくなる。子供の現実の姿から目を逸らすことなく、地味ではあっても根気よく実践を続けていけば、子供は間違いなく伸びていく。そして、教師自身が自信と誇りを持てるようになるのである。派手なスローガンのもとに華華しく公開したところで、子供が育たず教師が成長できなければ何の意味があるだろうか。

### 2. 不易と流行

教師や学校は流行に非常に敏感であり、時の権力には無批判に従ってしまう傾向がある。私が管理職に付いた頃、文部省は「ゆとり教育」と相まって「自ら学ぶ児童生徒・・・」ということ、強く指導するようになった。すると、全国の学校はあつという間に「自ら学ぶ・・・」を教育目標に掲げ、

その研究成果を誇示した。私は、宮教大付属小学校に在籍していたので、全国付属校85校の研究テーマを調べてみると、なんと一校も変わらず(表現の仕方こそ別であるが)「自ら学ぶ・・・」という同一趣旨の研究テーマであった。もちろん、全国の公立校も同傾向と推測できた。しかし、今「ゆとり教育」がどうなっているかご存知の通りである。主体的に学ぶことの大切さを否定する人は、いつの時代でもあり得ない。しかし、現実の成果はどうなったのか残念なことである。

このような、権威に盲目的に従属する姿勢は、現実から逃避し子供の実態を見失ってしまうものである。百歩譲って考えてみても、研究というからには、他と比較検討しながら、成果よりも失敗を銘記しなければならない。流行はどこまで行っても流行にすぎない。不易はいつも子供の姿の中にあることを常に意識することこそが肝要と考える。





## 小学校時代の記憶をたどって

卒業生 千葉 勝義

私が若柳小学校に入学したのは、昭和34年の半世紀前のことでもあります。当時校舎は、現在のドリームパルの敷地にありました。2階建の木造建築であり、西側に講堂と東側に体育館がありました。西門・正面門・東門そして校庭に面した北門があったと記憶しております。校舎の周りには、桜の木が植えられており、春には校舎の周辺がピンクに染まりました。

私達の同級生は、6クラスで250名以上いたと思います。全校児童数は1,500名を超え栗原郡内でも有数のマンモス校でありました。

各家庭の子供の数は、4～5人が普通の時代であったので、同じ行政区に同級生が20人もいました。

学校生活の思い出として、学校給食（脱脂粉乳のみ。）が、ありませんでしたので、各家庭で作った弁当等を持参していました。冬には弁当が冷たくなるので、だるまストーブ（石炭やコークスを燃料としていた。）の周りに弁当を入れる棚が設置されており、その棚に弁当箱を入れて温めていました。授業中に弁当が温まるといろいろな臭いがしたことを思い出します。日直当番は、ストーブの火起こしや石炭の運搬と後かたづけを担当しました。上手に火を起こせないと教室の中が煙で充満することもありました。

また、小学6年生の修学旅行は、仙台方面に行き青葉城の伊達正宗の銅像の前で記念写真を撮りました。宿泊先は、秋保温泉でありましたが、各家庭から米を3合準備し講堂に集め、事前に宿泊する旅館に送りそれを食べました。

それから、小学4年生の頃だったと思いますが、県北を震源地とする大きな地震が発生しました。その時私達のクラスは、授業で体育館わきの畑でじゃがいもの収穫をしていて、私は立っていただけなくなり、生まれて初めての体験に恐怖を感じました。地震により校舎が損壊したことから、耐震補強工事が行われ2階から地上まで三角形の支柱みたいなものが作られ、不格好な校舎となったのを記憶しております。

追伸 幼少期に学んだ思い出の学校がなくなるということは、寂しい限りです。





## 新校舎の思い出

卒業生 村井 晃子

私は、昭和59年、若柳小学校を卒業しました。平成24年の4月から、ご縁があって母校で勤務させていただくことが決まった時には、心から嬉しく思いました。

体育館に飾ってある校歌の歌詞は、卒業制作として同級生と一緒に作ったものです。子どもたちと一緒に校歌を歌う度、母校に対する感謝の気持ちと誇りを感じます。新校舎で過ごした期間は、約半年という短い期間でしたが、たくさんの思い出があります。

当時は、校舎の周りに遊具などはなく、校庭には小さい苗木しかありませんでした。それが今では大きな桜の木となり、春には見事な花を咲かせ、見る人を和ませています。

図書室には本が入っていなかったもので、6年生だった私たちは、首から風呂敷を下げ、その中に本を何冊も詰めては、旧校舎から新校舎へと運び出しました。

木造の旧校舎も大好きでしたが、新校舎の赤い屋根が付いた時計台や、吹き抜けの明るい廊下、そしてベランダから見える眺めがとても好きでした。

教室や体育館など、何もかも新しいので、誰もが校舎を汚さないように使っていたし、物も大切に扱っていたように思います。後輩にきれいな校舎のまま渡そうと、掃除も一生懸命取り組みました。特に、トイレ掃除は、隅々まで丁寧に行っていました。

そうやって先輩方も、代々、いろいろな想いを伝えていたと思います。豊かな自然に囲まれた歴史と伝統ある若柳小学校は、今年度で一度その幕を閉じます。しかし、自分自身を育ててくれた大切な母校であることには変わりません。後輩の皆さん、来年度から始まる新生「若柳小学校」の新しい歴史を、仲間と共に力を合わせて築き、後に続く後輩たちへと繋いでいってください。



## 鼓笛隊の思い出

卒業生 三浦 佳子

旧若小は私の家のすぐ近くにあり、2階の窓を開ければ学校が見えました。真正面に見える大きな木造の校舎と、遊具の並んだ広い校庭は、生活に溶け込んだ身近な風景でした。その校庭で秋に行われる「大運動会」は、私にとっては気の重い行事、特に徒競走は憂鬱でした。それでもお弁当を食べた後、鼓笛隊を見るのはとても楽しみでした。曲を演奏しながら隊列がいろいろに変化していく様子は見事で、早く自分もやってみたいと思っていました。いよいよ私達が担当する学年になり、思いがけず鼓笛隊で、バトンガールをさせていただくことになりました。

若小のバトンガールは私達が2代目でした。初代のリーダーだった先輩に指導していただいたのですが、自主的な練習で、先生方は殆ど関与しませんでした。当時はそれが嬉しくて、一生懸命教えてくれる先輩のためにも、がんばろうと思いました。仲間みんなも同じ思いだったのか、規律正しく、熱心に練習しました。私は家に帰ってからも、傘を使って「前面旋回」の練習をしました。バトンが回せるようになると楽しくて、放課後が待ち遠しかったのを覚えています。

肝心の運動会当日の記憶は、緊張していたのか思い出せません。でもそのあと、先輩から教えていただいたことをそのまま受け渡そうと、後輩達に教えたことはよく覚えています。

私の子供達も若小にお世話になり、親の立場で運動会を拝見させていただく機会がありました。児童数が減り、少し小さくなった鼓笛隊ですが、私達が伝えたものが、何十年たっても受け継がれていることに、時間が巻き戻るような感慨を覚えました。小さな赤いユニフォームは、大切な懐かしい思い出です。





## 『若柳小金管バンド結成』と当時の活動

旧職員 工藤 忠康

「若柳小にだけ金管バンドがない」そんな声が町のあちこちから聞こえていました。結成への強い要望が実り、平成7年度、待ちに待った結成の方針が町教委より示されたのです。喜びの声は大きく、当然ながら親や地域の関心も高く、50名を超える部員が集まりました。楽器購入などに充てる予算も約600万円と、町教委の熱い思いも感じながらスタート。多くの思いを背負いながら「若柳小金管バンド」は誕生しました。

吹奏楽部出身の私ですが、50名を超える素人集団を指導するのは、正直言って大変でした。誰もまともな音を出せません。だから練習しかないと考えました。放課後や朝の練習、休みの日もほとんど練習に充てました。専門の指導者にも何度か来ていただき、少しずつ少しずつ「ドレミファソラシド」が楽器から奏でられるようになりました。でも、まだ合奏できる状況ではありません。あせる気持ちもありましたが、「ゆっくり、しっかり」と言い聞かせながら練習していきました。



そんな折「若柳町民音楽祭」への出演依頼がありました。しかし、まだまだ合奏できる状況ではなかったのでお断りしようと考えていました。「へたでもいいから、今やれるところまでいいから、先生、出演して下さい。みんなが楽しみにしています。」この声に背中を押され、出演することにしました。「きらきら星」しかできなくてはずかしかったけれど、多くの笑顔に囲まれ、部員とも「また頑張ろう」と約束し合いました。

こつこつと活動してきて2年目。県小学校音楽発表会に出場する機会がありました。「アフリ

カン・シンフォニー」を堂々と演奏し、見事「銀賞」を受賞したときは、「やっと、ここまでできたか。」という思いでした。





## 合唱部の思い出（～合唱部と私～）

卒業生 千田 美穂

「みほちゃんは、とっても苦しそうなお歌い方をするね…。」小学4年生の歌のテストの時、音楽の先生から言われた言葉でした。

それまでただただ歌うことが好きで、元気いっぱい歌えば「上手だね～！」と言われていた自分にとって、ショックを受けた一言でした。そのご指摘に続いての言葉、「合唱部に入って練習したら、もっと澄んだきれいな声になると思うよ！」…そのようなきっかけで、小学5年生に進級した私は、合唱部に入部しました。

顧問の先生は、その年に本校に着任された、若くて綺麗な佐藤久美先生。久美先生のご指導の合唱は、とても楽しく、音楽がどんどん好きになっていきました。（久美先生は後に、同僚の先生とご結婚され、菅原久美先生となりました。）

2年間所属した合唱部での思い出は記憶に多々ありますが、年に1度開催される合唱コンクールに参加するため、仙台に行けることが嬉しかったこと。また、練習の合間、お菓子やアイスを先生から差し入れ・ご馳走していただいた事は、今思うと本当にありがたく感謝しております。

6年生に進級し、引き続き合唱を続けていく中、ソロを歌ったことがきっかけとなり、公の場で、“一人で歌う”ことに、緊張しつつも「快感」や「充実感」を味わいました。

その後、中学校に入学してからも合唱を続け、3年生の時は音楽祭で独唱をさせてもらい、そのようなきっかけが積み重なり、その後も歌と深く関わっていくこととなりました。

現在、さまざまなイベントで、また、冠婚葬祭など、いろいろな方の人生の節目で、ある時は「祝福」、ある時は「慰め・祈り」の気持ちを込めて歌わせていただいておりますことは、大変光栄であり、誇りに感じております。



また、2年ほど前からは、「震災復興」および「故郷おこし」の一環として、地元の皆様のご協力をいただきながら、演奏仲間や幼なじみ達と1年に1度、「ドリームパル」にて演奏をさせていただいております。（今後も様々な形で、この「故郷おこし」をみなさんと一緒に続けていけたら幸いです。）

若柳小学校・合唱部での経験は、現在いろいろな場で歌わせてもらっている、今の自分の原点だと思っています。

（最後に、平成25年度より新しく生まれ変わる若柳小学校の益々の発展、また合唱部の活躍を心よりお祈り申し上げます。）



**剣道の思い出**

卒業生 齋藤 和仁

一つ、すすんでやるのが上の上  
 一つ、まねしてやるのが中の中  
 一つ、言われてやるのが下の下

私が入部していた「若柳剣道スポーツ少年団」の稽古は、この合唱から始まり、この合唱で終える。知らず知らずの内に心に刻まれ、引っ込み思案だった私が、何事にも積極的に進んで行えるようになったきっかけを作ってくれたのが剣道でした。

また、剣道では1本を取った際、ガッツポーズをすると1本が取り消されます。嬉しさを表現したり、強さを誇示することがかっこいい事ではなく、相手の身になり「思いやる・敬う心」も礼儀と同時に養うことができたと思っています。

そして大会では、武道の聖地「日本武道館」で試合が出来たことと、その副賞？として、東京ディズニーランドに連れて行って貰ったことや、小学6年生時には、男子2名、女子3名のチームで県大会において優勝したことが思い出されますが、やはり一番の思い出は、村上先生のご指導の下、同級生と先輩・後輩20数名の部員とで、稽古で共に汗を流し、遊び、笑い合ったこの小学生時代が30年経った今でも懐かしく、私の剣道人生において一番楽しく剣道が出来た時代でもありました。(仲間の皆さんに感謝です)

最後に、今回このような機会を頂き、初心・原点に返ることができました。ありがとうございました。新生若柳小学校並びに若柳剣道スポーツ少年団のご発展を祈念し結びと致します。

**野球の思い出**

保護者 菅原 明

「やった、やったぞ、水戸だ」平成10年7月学童野球大会決勝。一球一球固唾を呑んで祈りそしてその決定の瞬間応援に来てくれた全員が握手、握手と歓喜に包まれた時だった。この大会は県の代表として参加出来る大会で、高校野球で言えば甲子園大会と同様で球児の夢の舞台です。私達親は、初めての茨城県水戸市での全国大会へ向け数多くの会議を持ち準備に奔走した事を今でも思い出されます。その後県少年野球大会で優勝、その他招待試合等も優勝や好成績を残し、最後の大会も優勝で締めすばらしい成績で終えた事に子供達の頑張りや成長を感じた想いだった。その陰には子供達を良く理解指導してくれた監督の力、家族から多くの支えがあったからだと思っています。

4年生時に「ヤングナインに入りたい」と息子から話があったが、試合日の早朝出発や日曜日仕事で暇が無く行けない等の理由で保留していた自分。近くの育成会員から「来れる時来れば良いし子供は行った人達で見る」との勧めもあり承諾した思いがする。試合を初めて観て子供達のボールに遊ばれながらの一所懸命な姿に可笑しくもあり面白さにいつの間にか応援者になっていた。

学年が進むにつれお父さん方による監督さんを囲んでの反省会をする機会が増え、子に対する親の想い、お互い和気あいあいの時間を共有出来、また“宇宙遊泳”等珍芸も出たりと楽しく過ごした事が思い出として残っています。この“ノミネーション”は会のまとめ、協力に良い意味で繋がったと私は思っています。お母さん方は試合の始まる前の時間を“お茶会”と称して各家得意レシピ交換等お父さん方同様に交流を深め会の潤滑油としての役割をも果たしてくれました。



良く頑張った子供達、良き指導者にも巡り会え、また家族の理解ある温かい応援もあった。親の会として子供達が活躍出来る野球環境づくりに徹し協力してくれた。この三位一体が結果としてすばらしい成績として残せたと思うし良き野球の思い出である。





# 1年1組…毎日わいわい元気なクラス



## 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

ゲームやさんになりたいです。  
 ぼくは、すいえいのせんせいになりたいです。  
 おすしやさんの、おすしをつくる人になりたいです。  
 おすしが好きなので、おすしやさんになりたいです。  
 ぼくは、かがく・がくしゅうのメカをつくる人になりたいです。  
 ぼくは、けいさつかんになってどろぼうをつかまえたいです。  
 アイスcreamやさんになりたいです。  
 おかしやさんになりたいです。  
 おもちゃやさんになりたいです。  
 サッカーせんしゅになりたいです。  
 けいさつかんになりたいです。  
 けいさつかんになりたいです。  
 車やさんになりたいです。  
 セブンイレブンのおにいさんになりたいです。  
 お花やさんになりたいです。  
 わたしのしょうらいのゆめは、はいしゃさんです。  
 大きくなったらケーキやさんになりたいです。  
 お花やさんになりたいです。  
 お花やさんになりたいです。  
 大きくなったら、ケーキやさんになりたいです。  
 わたしは、アイドルになりたいです。  
 大きくなったらお花やさんになりたいです。  
 おいしゃさんになりたいです。  
 わたしは、ケーキやさんになりたいです。  
 ケーキやさんになりたいです。  
 ペットショップのてんいんさんになりたいです。

男 14名 女 12名 計 26名

担任 熱海 聡子





# 1年2組…げんきいっぱいいたのしいクラス



## 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

だいきさんになりたいです。  
 うちゅうひこうしになりたいです。  
 うちゅうひこうしになりたいです。  
 サッカーせんしゅになれますように。  
 やきゅうせんしゅになりたいです。  
 やきゅうせんしゅになりたいです。  
 サッカーせんしゅになれますように。  
 おとなになったらサッカーをしたいです。  
 くるまやさんになりたいです。  
 サッカーせんしゅになりたいです。  
 サッカーせんしゅになりたいです。  
 サッカーせんしゅになりたいです。  
 ぼうけんかになりたいです。  
 うちゅうひこうしになりたいです。  
 サッカーせんしゅになれますように。  
 かしゅになりたいです。  
 ケーキやさんになりたいです。  
 ケーキやさんになれるように。  
 はなやさんになりたいです。  
 ケーキやさんになりたいです。  
 けんちくかになりたいです。  
 ケーキやさんになれますように。  
 ケーキやさんになれるように。  
 おわらいずいいんになれますように。  
 ケーキやさんになりたいです。  
 ケーキやさんになりたいです。  
 ケーキやさんになりたいです。

男 15名 女 12名 計 27名

担任 石川 ゆみ  
学校補助員 高橋 範子





## 2年1組…元気100%にこにこクラス



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

パン屋さんになって、おいしいパンをつくりたいです。  
 お兄ちゃんがんばっている、やきゅうのせん手になりたいです。  
 子どもに人気になるようなおもちゃを売るおもちゃ屋さんになりたいです。  
 つよいバスケットボールせん手になりたいです。  
 ぼくのしょうらいのゆめは、バスケットボールせん手になることです。  
 びょうきの人をなおしたいから、おいしゃさんになりたいです。  
 つよいやきゅうせん手になりたいです。  
 ぼくは、ガソリンスタンドの人になりたいです。  
 ぼくはしょうらい、ケーキ屋さんになりたいです。  
 お父さんと同じガソリンスタンドでしごとをしたいです。  
 ぼくは、すてきな家をたてたいです。  
 算数だけでなく国語もがんばって、いしゃになりたいです。  
 テニスのれんしゅうをもっとやって、テニスせん手になりたいです。  
 シュートをがんばって、サッカーせん手になりたいです。  
 はやぶさのうんでん手になって、えきで人をいっぱいのせたいです。  
 びょうきをなおすために、いしゃになりたいです。  
 ぼくは、サッカーせん手になりたいです。  
 大きくなったら、ゆび人ぎょうを作る人になりたいです。  
 いっぱいれんしゅうをして、テニスせん手になりたいです。  
 きれいな花を売るお花屋さんになりたいです。  
 わたしは、パティシエになっておいしいケーキ屋さんになりたいです。  
 おいしいケーキが作れるケーキ屋さんになりたいです。  
 わたしはかみをおすぶのがとくだから、びょうしさんになりたいです。  
 テニスのれんしゅうをがんばって、テニスせん手になりたいです。  
 べんぎょうをがんばって、かんごしになりたいです。  
 きれいなお花屋さんになりたいです。  
 じえいたいに入りたいです。  
 わたしはしょうらい、かたもみやさんになりたいです。  
 きれいなお花屋さんになりたいです。  
 すてきな花やになりたいです。  
 イオンスーパーセンターの犬のけのカットをする人になりたいです。  
 わたしは、ママとおんなじ、ほいくしの先生になりたいです。

男 19名 女 13名 計 32名 担任 鈴木由里子





## 2年2組…元気いっぱい笑顔いっぱいにぎやかクラス



### 『『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』』

電車のうんてん手になって、おきゃくさんをよろこばせたいです。  
 いっぱいれんしゅうして、サッカーのせん手になりたいです。  
 いっぱいれんしゅうしてサッカーのせん手になって、シュートをきめたいです。  
 ぼくは、かっこいい自てん車やさんになりたいです。  
 おもしろいマンガをかくマンガ家になりたいです。  
 ぼくは、ペットショップにつとめて、ペットをやさしくお世話したいです。  
 ぼくは、たっきゅうの大会で、1いになりたいです。  
 ぼくは、みんながよろこぶようなゲームをつくりたいです。  
 プロ野球うせん手になって、ホームランをうちたいです。  
 サッカーぶいに入ってたくさんれんしゅうして、ぜんこくで1ばんになりたいです。  
 ぼくは、かっこいいジャーニーズになりたいです。  
 ぼくは、いっぱいれんしゅうして、野球うせん手になりたいです。  
 ぼくは、おしろのようなマンションをつくりたいです。  
 みんながよろこぶようなゲームをつくりたいです。  
 小学校の先生になりたいです。  
 ぼくは、こうかなほうせきやさんの店いんになりたいです。  
 ぼくは、いっぱいれんしゅうして、サッカーのせん手になりたいです。  
 きょうりゅうや虫などのおもちゃをつくるおもちゃやさんになりたいです。  
 ぼくは、人気のあるおわらいげい人になりたいです。  
 ぼくは、いっぱいべんきょうして、会社でしごとをしたいです。  
 ぼくは、おもしろいゲームをつくりたいです。  
 わたしは、おきゃくさんがよろこんでくれる、ネイルアーティストにいたいです。  
 ケーキやさんになって、おきゃくさんがえがおになれるスペシャルなケーキを作りたいです。  
 わたしは、花やさんになりたいです。  
 ほう石やさんになって、きらきらがいっぱいあるおみせではたらきたいです。  
 きれいなお花やさんになりたいです。  
 ケーキやさんになって、いろいろなケーキを作って、みんなをよろこばせたいです。  
 いっぱいべんきょうして、かんごしさんになりたいです。  
 わたしは、おかしのパティシエになりたいです。  
 わたしはグレープやさんになって、バナナグレープを作って、みんなに食べてもらいたいです。  
 赤ちゃんをうんで、かじはしっかりやるふつうのお母さんになりたいです。  
 わたしは、だれにもまけないテニスのせん手になりたいです。  
 わたしは、おいしいケーキをつくるケーキやさんになりたいです。  
 あめざいぐやになって、いろいろなあめを作って、人気のあるおみせをつくりたいです。

男 21名 女 13名 計 34名 担任 庄司 恵美子 千田 修子





## 元気いっぱい！3年1組



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

プロサッカー選手になりたい。  
 長友みたいなサッカー選手になりたい。  
 画家になって、絵を描きたい。  
 シュートをいっぱい決められるサッカー選手になりたい。  
 自衛隊に入って、1人でも多くの人を助けたい。  
 博士のような人になりたい。  
 サッカーが好きなのでサッカー選手になりたい。  
 まじめな牛乳屋さんになりたい。  
 プロサッカー選手になりたい。  
 動物が好きなので、動物の飼育員になりたい。  
 警察官になって、どろぼうをつかまえたい。  
 水泳の選手になって、北島選手みたいに速く泳ぎたい。  
 消防士になって、人を助けたい。  
 ドラクエを作る人になりたい。  
 おいしいケーキ屋さんになりたい。  
 おすし屋さんになりたい。  
 お父さんみたいな歯医者さんになりたい。  
 お母さんのような、りっぱな看護師になりたい。  
 いろいろな花を売って、お客さんに喜んでもらえる花屋さんになりたい。  
 おいしいケーキを作る、パティシエになりたい。  
 警察官になって、困っている人を助けたい。  
 みんながうれしそうに笑顔で来てくれるケーキ屋さんになりたい。  
 菜々緒のようなりっぱなモデルになりたい。  
 ペットが好きなので、ペットショップの店員になりたい。  
 ねこや犬が好きなので、ペットショップの店員になりたい。  
 お客さんに喜ばれるような美容師になりたい。  
 ペットにやさしいペットショップの店員になりたい。  
 やさしい歯医者さんになりたい。  
 歯医者さんになって、みんなを笑顔にさせたい。  
 バスケットボール選手になって、世界一になりたい。  
 ケーキ屋さんになって、おいしいケーキをみんなに食べさせてあげたい。

男 17名 女 14名 計 31名 担任 三浦 博志



## スポーツ大好き！3年2組



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

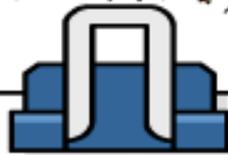
プロ野球選手になって、ホームランをたくさん打ちたい。  
 消防士になっていろいろな人を助けたい。  
 消防士になって火事を防ぐようにしたい。  
 消防士になって火事を消したい。  
 電車の運転手になって新幹線を運転したい。  
 雑貨屋になって、たくさん売れるようにがんばりたい。  
 スバルの車を作る会社に入ってじょうぶなエンジンをのせた車を作りたい。  
 大工さんになって、いろいろな物を作りたい。  
 サンタクロースになって、みんなを喜ばせたい。  
 任天堂の会社に勤めて、いろいろなゲームを作りたい。  
 サッカー選手になって体力をつけたい。  
 工事現場の作業員になり、こわれた道路を一生懸命に直したい。  
 サッカー選手になって、たくさんゴールをきめたい。  
 サッカー選手になって、オリンピックに出たい。  
 ラーメン屋さんになって、おいしいラーメンをたくさん作りたい。  
 サッカー選手になって、ブラジルと戦って勝ちたい。  
 警察官になって、おばあさんなどを助けたい。  
 パイロットになって飛行機を運転したい。  
 本屋になって、自分のお店で本を読みたい。  
 看護師になって、世界中の人を助けたい。  
 ケーキ屋さんになって、みんなにケーキを食べてもらいたい。  
 看護師になってみんなを助けたい。  
 パティシエになって、ケーキを作ってみんなに食べさせたい。  
 テニスの選手になって、みんなと戦って1位を取りたい。  
 パン屋さんになって、おいしいパンを作りたい。  
 保育士さんになって、赤ちゃんのお世話をしたい。  
 パティシエになって、おいしいお菓子を作って食べてもらいたい。  
 お母さんの仕事場で働いて、みんなの笑顔が見たい。  
 歯医者になって、むし歯の人や歯がいたい人を治してあげたい。  
 ケーキ屋さんになって、全国の人に食べてもらいたい。  
 ケーキ屋さんになって、みんなにおいしいケーキを食べてもらいたい。  
 パン屋さんになって、みんなにおいしいパンを食べてもらいたい。  
 テニス選手になって、いろいろな大会で一位になりたい。  
 ケーキ屋になって、みんなをいやしたい。

男 18名 女 15名 計 33名 担任 佐々木 由紀子





## 4年1組…明るくにぎやか元気なクラス



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

夢はサッカー選手になって、ワールドカップで優勝したいです。  
 夢は、警察官になって交通事故をへらしたいです。  
 将来は、プロ野球選手になって活躍したいです。  
 柔道でオリンピックを3連覇して、日本中に柔道のおもしろさを伝えたいです。  
 しょう来の夢は、ゲームを開発する人になって、子どもを喜ばせたいです。  
 ゲームクリエイターになりたいです。みんなに楽しんでもらいたいです。  
 しょう来は医者になりたいです。医者になって、多くの人を救いたいです。  
 夢は、林選手のようなゴールキーパーになることです。  
 夢は大工さんになって、家を建ててみんなに喜んでもらいたいです。  
 夢は、大工さんになってお客さんに気に入ってもらえる物を作りたいです。  
 夢はマッサージシになって、お客さんに気持ちいいと言われたいです。  
 夢は、プロサッカーの日本代表になって、世界でも活躍したいです。  
 しょう来の夢は、『よかろうもん』の社長になってお金をかせぐことです。  
 しょう来はそば屋のしょく人になって、お客さんを喜ばせたいです。  
 夢は、プロサッカー選手です。日本代表選手になって活やくしたいです。  
 夢は、引にしセンターで働いて、いろいろなものを選んでみたいです。  
 サッカー日本代表の香川選手みたいになくなって、活やくしたいです。  
 夢は、家の近くにチョコ専門店を開き、お金をかせいで家を建てることです。  
 小さい子が大好きなので、しょう来は保育士になりたいです。  
 しょう来は、家族やお客さんに喜んでもらえるケーキ屋さんになりたいです。  
 動物園で働いて、みんなに動物のすごさをもっと知ってほしいです。  
 夢は、バスケット選手になって、強いチームと戦うことです。  
 しょう来は卓球の選手になって、オリンピックに出たいです。  
 ペットが死んでかわいそうだったので、夢はじゅう医になることです。  
 しょう来なりたい夢は、お花屋さんの店長です。  
 保育士になって、いろいろな子と遊べるような元気な保育士になりたいです。  
 夢は、お母さんみたいに小学校の保健の先生になることです。  
 お弁当屋さんになって、いろいろな人にお弁当を作りたいです。  
 マンガ家になりたいです。いろいろな人に読んでもらいたいです。  
 子どもと遊ぶことが好きなので、ようち園の先生になりたいです。  
 バテシエールなって、みんなに美味しいと言われたいです。  
 夢はマンガ家です。マンガをかいて、いろいろな人を笑わせたいです。

男 17名 女 15名 計 32名 担任 村井 晃子





## 4年2組…やる気のあるクラス



### 「『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』」

泳ぐのが好きなので、水泳のコーチになりたいです。  
 じゅう道でオリンピックに出て優勝したいです。  
 ソフトテニスの全国大会で優勝する。  
 ケーキ屋さんになって、みんなを喜ばせるケーキを作りたいです。  
 バギーの車を運転する人になってレースに出たいです。  
 すごくおいしいものを作る料理人になりたいです。  
 テニスのウィンブルドン(世界大会)で優勝する。  
 料理をするのが好きなので、コックさんになりたいです。  
 子どもによろこばれるようなゲームを作る人になりたいです。  
 駅員さんになって、電車に乗り降りする人のお世話をしたいです。  
 人の気持ちができる、いい社長になりたいです。  
 プロサッカー選手になって、外国のチームとたたかいたいです。  
 サッカー選手になって、外国でプレーしたいです。  
 サッカー選手になって、たくさんゴールをしたいです。  
 走るのが好きなので、陸上選手になりたいです。  
 絵を描くのが好きなので、マンガ家になりたいです。  
 走るのが好きなので、陸上の長きよりの選手になりたいです。  
 小さい子どもが好きなので、幼稚園の先生になりたいです。  
 陸上の長きよりで速くなって、優勝したいです。  
 自分のブランド(服やバッグ)を売る店をもちたいです。  
 花の世話をするのが好きなので、花屋さんになりたいです。  
 ケーキ屋さんになって、いろんなおいしいケーキを作りたいです。  
 犬やねこが好きなので、ペットショップ屋さんになりたいです。  
 ケーキ屋さんになって、いろんなケーキを作って、売りたいです。  
 おかしを作るのが好きなので、ケーキ屋さんになりたいです。  
 いい人と結こんして、子どもを二人くらい産みたいです。  
 花屋さんになって、きれいな花をいっぱい売りたいです。  
 オシャレな服を作るデザイナーになりたいです。  
 みんなを守るけいさつ官になりたいです。  
 かんごしになって、病気の人を元気にしたいです。  
 花屋さんになって、人が笑顔になれるような花たばを作りたいです。  
 レストランを建てて、いろんなおいしい料理を作りたいです。  
 幼稚園の先生になって、子どもたちと楽しく遊びたいです。  
 建ちく家になって、たくさんの人をよろこばせたいです。

男 17名 女 17名 計 34名 担任 佐藤 幹雄 千田 修子





## 5年1組…いつも元気で笑顔なクラス



### 『『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』』

ベガルタ仙台に入団して最強のDFになります。  
 お父さんの仕事について、一緒に仕事をしたいです。  
 カメラマンになって、世界中のいろいろなものをとりたいです。  
 機械工学や生物学の科学者になりたいです。  
 バドミントンのプロになって、活躍したいです。  
 プロ野球選手になって、いっぱいかきで親と旅行をしたいです。  
 公務員になって人の役に立ちたいです。  
 大工さんになり、立派な家を作りたいです。  
 釣りの名人になって、大物をたくさん釣りたいです。  
 薬剤師になって、ガンセンターで働きたいです。  
 ロボットを作る大学に行き、人を助けるロボットを作りたいです。  
 お料理の練習をして、お店で働きたいです。おいしい料理を作りたいです。  
 医者になってたくさんの人を助けてたいです。  
 お母さんと一緒にお店をしたいです。何屋さんになるかは、まだ決めていません。  
 病院で、人のために働きたいです。  
 サッカーのプロ選手になって、たくさん活躍したいです。  
 サッカー選手になって外国で活躍して有名になりたいです。  
 漫画家になって、面白い漫画をたくさん描きたいです。  
 いろいろな研究をして、ノーベル賞を獲得したいです。  
 たくさん勉強してゲームプログラマーになる。そして大ヒット商品を作ります。  
 医者になって、たくさんの人を救いたいです。  
 宇宙飛行士になって、水星に行きたいです。  
 ゲームクリエイターになって、将来子どもたちを喜ばせるゲームを作りたいです。  
 学校の先生になって生徒をまとめられるようになりたいです。  
 声優になって、有名になりたいです。  
 美容師になって、お父さんお母さんの手伝いをしたいです。  
 歌手になって、たくさんの人々の心に響く歌声を届けたいです。  
 モデルになって、いろんなところで活躍したいです。  
 花屋の店員になって、たくさんのお花を多くの人に買ってもらいたいです。  
 ケーキ屋さんになって、おいしいケーキを作りたいです。  
 陸上の選手になって、活躍したいです。  
 ソフトテニスのプロになって、宮城県の代表になります。  
 美容研究家になって人の役に立ちたいです。  
 プロテニスプレーヤーになり、団体に出られるように頑張ります。  
 キャラクターデザイナーになって、たくさんキャラクターを作りたいです。  
 プロテニスプレーヤーになって、世界中で活躍したいです。  
 介護の仕事について、たくさんの人を支えたいです。  
 たくさん勉強をして、学校の先生になれるように頑張ります。  
 おいしいご飯を作って、みんなに食べてもらいたいです。  
 パティシエになってきれいなケーキを作り、お客さんを喜ばせたいです。  
 東北全県をまわって、いろいろな食べ物を食べるために、しっかり働きます。

男 23名 女 18名 計 41名 担任 佐々木 翔太 岩淵 桂子



## 5年2組…自由に咲夢（フリードリーム）



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

メッシみたいなプロサッカー選手になりたい。  
 つまんないことはやらない。そのために勉強をする。  
 博士になる。そのために理科の勉強をする。あと、家を守るために仕事をする。  
 発明家になりたいです。そのために今からいろいろなことを覚えたいです。  
 料理の勉強をして、五つ星レストランで働きたいです。  
 水泳のコーチになりたい。理由はみんなに上手くなってほしいからです。  
 プロ野球選手になりたいです。プロ野球選手になれなかったら社会人野球に入りたいです。  
 ぼくは釣りが世界一好きです。だから、日本一の、世界一の釣り名人になりたいです。  
 車の運転免許を取って、清掃車の運転手になりたいです。  
 毎日サッカーをしているので、サッカー選手になりたいです。  
 人の役に立てて、お金ももうかる職業につきたいです。  
 本をいっぱい読んで、まんが家になる。そして、おもしろいまんがを描く。  
 楽しく、自由に生きること。そしてマンガ家になる。  
 練習をたくさん頑張って、プロサッカー選手になる。  
 プロサッカー選手になりたいです。なぜなら、若柳FCに入っているからです。  
 将来の夢は、ヘラブナ釣り名人になることです。  
 少年野球のコーチになる。そのために野球のルールをしっかりと覚える。  
 水泳の選手になって、オリンピックで金メダルをとる。  
 釣りマスターなる。そのためにたくさん釣りをする。  
 プロ野球選手になりたいです。そのために、今やっている野球の練習をがんばる。  
 ゲームを作って、いろいろな人達にゲームを知ってもらう。  
 算数をもっと勉強して教師になりたい。そして、優秀な生徒を育てて東大に入学させたい。  
 勉強をがんばって薬剤師になる。  
 服屋になりたいです。いろいろな服をデザインしてたくさんの人に喜ばれたいからです。  
 画家、デザイナー、マンガ家になって1位をとる。画家では、自分の絵に自信をもって描きたい。  
 保育士になりたいので、子どもの性格を知る。  
 美容士になって、みんなの髪をカワイく切りたいです。  
 歌手になって、聴いている人たちを笑顔にする。  
 私の将来の夢はトリマーです。理由は、動物が好きだからです。  
 勉強を頑張って、薬剤師になる。そして、病気を治せる薬をつくる。  
 老人ホームで働いて、お年寄りの人の役に立てる人になる。  
 勉強をたくさんして、お客さんに喜ばれる美容師になる。  
 大好きな犬に関わるトリマーなどの仕事がしたいです。  
 保育士になりたい。そのために、家でピアノの練習をしています。  
 ソフトテニスのプロになって、日本代表になる。  
 私の将来の夢は歌手です。友達と3人で東京で暮らして、3人で作った歌をうたいたいです。  
 勉強をたくさんして宇宙飛行士になる。宇宙の研究をして家の人に教える。  
 パティシエールになって、いろんな人におかしを食べてもらいたい。  
 ドックトレーナーになって、目が不自由な人を助けてあげられるような犬を育てる。  
 保育士になりたいです。学校の先生みたいです。どこか、何かの先生になりたいです。  
 ファッションデザイナーになって、自分が作った服をみんなに着てもらいたいです。

男 22名 女 19名 計 41名 担任 後藤 咲織 高成 俊也 岩淵 桂子





## 笑いが絶えない楽しいクラス 6年1組



### 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

サッカー選手になって、いろいろな試合に出て、頑張りたいです。  
 野球が好きなので、野球に関係する仕事をしたいです。  
 お父さんが働いているヨコハマタイヤで働きたいです。  
 ビジネスマンになって、仕事を成功させて金を稼ぎたいです。  
 プロ野球選手になって、いろいろと活躍したいです。  
 菌の研究者になって、新しい菌を見つけたいです。  
 水泳選手になって、オリンピックに出て金メダルを取りたいです。  
 生活に役立つものを作って、みんなの役に立ちたいです。  
 プロレーサーになって、世界の頂点に立つドライバーになりたいです。  
 介護士になって、お年寄りの人達の面倒を見てあげたいです。  
 運動が好きなので、何かのスポーツ選手になって活躍したいです。  
 運動が好きなので、スポーツができる人になりたいです。  
 サッカーが好きなので、サッカー選手になりたいです。  
 プロ野球選手になって、親孝行をしたいです。  
 ゲームクリエイターになって子どもが飛び切り喜ぶゲームをつくりたいです。  
 サッカーが好きなので、サッカー選手になって、活躍したいです。  
 お母さんみたいに大きなスーパーで働きたいです。  
 父のような雇の調査をする人になって、雇の研究をしたいです。  
 テニスプレイヤーになって、世界で活躍したいです。  
 保育士になって、小さい子どもたちを笑顔いっぱいになりたいです。  
 デザイナーになって、みんなが驚くようなデザインをつくりたいです。  
 介護士になって、人のお世話をしたいです。  
 保育士になって、たくさんの子と楽しく生活したり、遊んだりしてみたいです。  
 保育士になって、小さい子ども達が保育園で楽しく遊べるようにしたいです。  
 獣医になって、たくさん動物の病気を治したいです。  
 フライトドクターになって、たくさん命を救えるように頑張りたいです。  
 調理師になって、みんなに美味しい料理を食べてもらいたいです。  
 テニスプレイヤーになって、いろいろなところで活躍したいです。  
 動物が好きなので、動物関係の仕事をしたいです。  
 みんなが安心して子どもを預けられる保育士になりたいです。

男 16名 女 14名 計 30名 担任 齋藤 義彦





# いつも元気！パワー100%！6年2組



## 『夢(ゆめ)～未来へ向けて～』

衆議院議員になって日本を今よりもっとよくなりたいです。  
 店を継いで6代目として、お客さまを減らさないようがんばりたいです。  
 ゲームが好きなので、ゲームの会社に入り、いろいろなゲームを作りたいです。  
 警察官になって悪いことをした人をつかまえ、国民を守りたいです。  
 ぼくは、「内閣総理大臣」になりたいです。今の日本を変えていきたいからです。  
 プロ野球選手になって日本一の打点王として活躍したいです。  
 ぼくは貨物列車の運転士になって、みんなの生活を支える仕事をしたいです。  
 柔道の選手になって、オリンピックに出て、金メダルをとりたいです。  
 サッカー選手になって活躍したいです。なぜなら、サッカーが大好きだからです。  
 ゲームを作る仕事に就いて、おもしろいゲームを自分で作ってみたいです。  
 ぼくは、大好きな会社のサラリーマンとなって、毎日一生懸命働きたいです。  
 サッカー選手になりたいです。なぜなら、サッカーが好きだからです。  
 ぼくは、医療関係の仕事に就いて、たくさんの人を救いたいです。  
 ぼくは、サラリーマンになって、その会社で一生懸命働きたいです。  
 野球選手になってメジャーに行けるようがんばりたいです。  
 レストランをオープンさせて、おいしい料理をつくりたいです。  
 シェフになって、みんなが元気でいられる気持ちのこもった料理を作りたいです。  
 私は、パティシエールになってみんなが喜んでくれるお菓子を作りたいです。  
 動物が好きなので、盲導犬やセラピードッグになるまで育ててみたいです。  
 世界的なヘアスタイリストになって、たくさんの芸能人のヘアメイクをしたいです。  
 元気いっぱい笑顔がたえない、子どもに尊敬される保育士になりたいです。  
 パティシエールになって、おいしいお菓子を作って、みんなを元気にしたいです。  
 たくさん勉強して、多くの人々に信頼される助産師になりたいです！  
 整体師になりたいです。疲れている人をマッサージでほぐしてあげたいからです。  
 私は、保育士になって、小さい子どもたちの笑顔をいつも見たいです。  
 おいしいスイーツをいろいろ作れる有名なパティシエールになりたいです。  
 私は、学校の先生になりたいです。生徒に好かれる先生になりたいです。  
 私の夢は栄養士になることです。みんなの健康を考える栄養士になりたいです。  
 児童クラブの指導員になって、子どもたちといっぱい遊んであげたいです。  
 看護師になって、病気の人やけがをした人を助けたいです。

男 16名 女 14名 計 30名 担任 千葉 奈代子





## 編集後記

閉校準備委員会

委員長 千葉 孝

私たち地区民を育ててくれた若柳小学校が閉校となり、100有余年に亘る輝かしい歴史に幕を閉じ、新生・若柳小学校として、若柳地区5校と統合し新しくスタートすることになりました。この閉校にあたり、多くの皆様のご協力により閉校記念誌を発行する運びとなりました。地区民を育てくれた、我等が若柳小学校が閉校になることは、非常に淋しい思いでいっぱいです。地域から愛され、地域の皆様と歩み、学力やスポーツ、文化活動等、優秀な子供たちを育て、世に送り出してきたことを誇りに思います。

輝かしい歴史の中から記念誌を発行するにあたり、若柳在住の歴代校長先生、スポーツ・剣道や野球、文化活動・合唱や金管バンド、今はなき鼓笛隊などに携わった方々に寄稿を依頼させていただきました。限られた準備期間中、ご協力いただきました寄稿者の皆様に感謝申し上げます。編集を進めていくに従い、改めて、本校の歴史や伝統を再認識するとともに、懐かしい思い出などがよみがえり、胸がいっぱいになりました。この歴史と伝統を胸に、新生・若柳小学校の輝かしい歴史を刻んでほしいと思います。

最後になりましたが、ご多忙の中ご寄稿くださいました方々、校長先生をはじめ教職員の皆様、ご支援を賜りました皆様方に厚く感謝を申し上げ、編集後記といたします。



栗原市立若柳小学校閉校・若柳幼稚園閉園記念誌

発 刊 平成25年3月

発 行 栗原市教育委員会

企画・編集 栗原市立若柳小学校閉校準備委員会



